DAIICHI-ENGEI
第一園芸

三井不動産グループの
&EARTH

報道関係各位

2026 年 11 月 9 日
第一園芸株式会社

東京ミッドタウン八重洲で剪定枝をアップサイクル
廃棄予定だった枝がクリスマス装飾に生まれ変わる
第一園芸が人と環境をつなぐサステナブルな装飾を企画・施工
装飾期間 2026 年 11 月 9 日（月）~12 月 25 日（金）

花と緑に関する事業を展開する第一園芸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山村勝治、三井不動産グループ）は、2026 年 11 月 9 日（月）から 12 月 25 日（金）まで大型複合施設『東京ミッドタウン八重洲』（所在地：東京都中央区八重洲二丁目 2 番 1 号）の「八重洲セントラルタワー」および「八重洲セントラルスクエア」に展開する、廃棄されてしまう枝をアップサイクルしたクリスマス装飾の企画と施工を担当しました。



■廃棄されるはずだった剪定枝をアップサイクル 植栽管理とクリスマス装飾を担う第一園芸ならではの企画

東京駅直結の大型複合施設『東京ミッドタウン八重洲』の「八重洲セントラルタワー」および「八重洲セントラルスクエア」において、第一園芸がクリスマス装飾を手掛けました。

今回の装飾は、第一園芸が管理する同施設 5 階の屋上テラスから生まれた、第一園芸ならではのサステナブルな取り組みです。第一園芸は、屋上テラスの植栽管理と「八重洲セントラルタワー」および「八重洲セントラルスクエア」のクリスマス装飾の企画・施工まで一貫して担当しています。その強みを生かして、樹木の健全な生育のために実施した剪定で発生した枝を活用し、本来であれば廃棄されるはずだった枝を、クリスマスツリーを彩るミニリース型のオーナメントへとアップサイクルしました。

本企画は、施設運営を担う三井不動産ビルマネジメント株式会社の協力のもと実現したもので、施設の緑を日常的に管理している第一園芸だからこそできた本取り組みは、植栽管理と空間装飾をつなぐ新たな循環のかたちです。自然の恵みを無駄なく生かしたミニリースには、「めぐる、つなぐ、クリスマス」というテーマのもと、人と

《本件に関する報道関係からのお問い合わせ》第一園芸株式会社 広報課　岡本
Tel：03-6404-1501 ／ Mail：info_pr@daiichi-engei.co.jp

環境、人と人をつなぐ想いを込めています。環境への配慮に加え、ワーカー同士の交流促進も目指したクリスマス装飾として、館内に温かな彩りを添えます。
「八重洲セントラルタワー」や「八重洲セントラルスクエア」にお越しの際は、「めぐる、つなぐ、クリスマス」をテーマにした装飾をぜひお楽しみください。



樹木の健全な生育のための剪定



剪定した枝を廃棄せずに収集



収集した枝をアップサイクルしたミニリース



装飾イメージ

■ワーカーの交流促進を目指した、アップサイクルオーナメントをあしらったクリスマスツリーを設置

「東京ミッドタウン八重洲」の「八重洲セントラルタワー」3 か所と「八重洲セントラルスクエア」1 か所に、アップサイクルしたオーナメントをあしらったクリスマスツリーを設置しました。
ツリーには、施設内の樹木の管理で発生した剪定枝を活用したミニリースを使用。華やかなゴールドや赤のオーナメントと、自然の風合いを生かしたナチュラルなミニリースが調和し、温かみのあるクリスマス空間を演出します。
また、本装飾は館内を彩るだけでなく、多くのワーカーが集う施設において、交流のきっかけを創出することを目的としています。人と環境をつなぐアップサイクルの取り組みを通じて、働く人々が季節の彩りを共有し、自然と集い、つながる場を生み出します。

【クリスマスツリー設置概要】

・期間
2026 年 11 月 9 日（月）～12 月 25 日（金）

《本件に関する報道関係からのお問い合わせ》第一園芸株式会社 広報課　岡本
Tel：03-6404-1501 ／ Mail：info_pr@daiichi-engei.co.jp

・場所
八重洲セントラルタワー：2F オフィスエントランス、24F スカイロビーほか
八重洲セントラルスクエア：1F エレベーターホール


八重洲セントラルタワー2F オフィスエントランスイメージ


八重洲セントラルタワー24F スカイロビーイメージ

■東京ミッドタウン八重洲　八重洲セントラルタワー／八重洲セントラルスクエア
【住所】東京都中央区八重洲二丁目 2 番 1 号
【公式 WEB サイト】https://www.yaesu.tokyo-midtown.com/about

■第一園芸株式会社　概要
第一園芸は、花と緑のプロフェッショナルとして創業 129 年を迎える、三井不動産グループの企業です。店舗やオンラインショップでの個人/法人向け商品の販売、婚礼装花、オフィスビルや商業施設などの都市緑化や公園・庭園などの造園・管理を手がける緑化事業、季節の空間装飾事業など、幅広い事業を展開しています。今後も第一園芸は花と緑に囲まれ豊かで潤いのある、そして持続可能な社会の実現を目指して挑戦しつづけます。
所在地：東京都品川区勝島 1 丁目 5 番 21 号　三井物産グローバルロジスティクス勝島 20 号館
代表者：代表取締役社長　山村勝治
創業：1898 年（設立 1951 年）
資本金：4 億 8 千万円
株主：三井不動産株式会社（100%）
HP：https://www.daiichi-engei.jp/
公式 Facebook：https://www.facebook.com/daiichiengei/

■「OASEEDS（オアシーズ）」概要
第一園芸株式会社の環境緑化・空間装飾ブランド。商業施設やオフィスビルの屋内外の環境緑化、空間に応じたコンセプトの企画とデザイン、植栽や装飾の施工までをワンストップで提供しています。
ブランドサイト：https://www.daiichi-engei.jp/oaseeds/index.php

■三井不動産グループのサステナビリティについて
三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現した

《本件に関する報道関係からのお問い合わせ》第一園芸株式会社 広報課　岡本
Tel：03-6404-1501 ／ Mail：info_pr@daiichi-engei.co.jp

いと考えています。
2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題)」として、「1．産業競争力への貢献」、「2．環境との共生」、「3．健やか・活力」、「4．安全・安心」、「5．ダイバーシティ＆インクルージョン」、「6．コンプライアンス・ガバナンス」の 6 つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】
・「グループ長期経営方針策定」　https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/
・「グループマテリアリティ」　https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
・「＆ EARTH for Nature」　https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「&EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。　本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の 5 つを定めています。本リリースの取り組みは、「&EARTH for Nature」における重点課題の 1 つに貢献しています。



《本件に関する報道関係からのお問い合わせ》第一園芸株式会社 広報課　岡本
Tel：03-6404-1501 ／ Mail：info_pr@daiichi-engei.co.jp